

## 西宮市と畜場事業計画(令和6年3月中間見直し)

団 体 名	:	西宮市	
事 業 名	:	と畜場・市場事業	
策 定 日	:	令和 3 年 3 月	
計 画 期 間	:	令和 3 年度 ~ 令和 10 年度	

### 1. 事業概要

#### (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適	事 業 開 始 年 月 日	大正6年(1917年)4月
職 員 数	0 人		
広 域 化 実 施 状 況	/		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	/	
	イ 指定管理者制度	平成20年度から導入、第5期(令和6年度～令和10年度)	
	ウ PPP・PFI	/	

#### (2) 料金形態

と 畜 場 使 用 料 の 概 要 ・ 考 え 方	同規模の他のと畜場と同等水準となることを基本に、使用料等収入が支出費用の概ね5割となる使用料単価を1頭あたり単位で設定している。大動物と小動物のそれぞれの使用料の比率は、概ね4対1の割合としている。		
と 殺 解 体 料 の 概 要 ・ 考 え 方	/		
そ の 他 料 金 の 概 要 ・ 考 え 方	内臓処理室使用料、冷蔵室使用料等についても、頭数や使用範囲などに応じた料金とするとともに、副産物処理に係る水道等使用料の実費相当分を設定している。		
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	令和元年10月1日		

### (3) 現在の経営状況

年間処理実績 (頭)	年度	牛	馬	豚	子牛	その他	合計
	R2	7,856	0	36,118	0	0	43,974
	R3	6,672	0	37,465	0	0	44,137
	R4	6,628	0	32,841	0	0	39,469
収益的収支比率	R02	85.5%	R03	83.0%	R04	79.8%	
経費回収率	R02	36.5%	R03	34.2%	R04	29.9%	
他会計補助金比率	R02	44.2%	R03	44.8%	R04	46.1%	
有形固定資産減価償却率	R02	85.0%	R03	87.1%	R04	-	
企業債残高対料金収入比率	R02	373.9%	R03	382.9%	R04	372.2%	

#### 【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

本市と畜事業は、収益的収支比率及び経費回収率が100%を下回り、一般会計繰入金に依存した経営状況であるとともに、他会計補助金率は増加傾向にある。

他市の同規模と畜場事業との比較では、本市と畜事業のみが一般会計繰入金に依存した経営ではないものの、収支バランスを改善し、一般会計繰入金の縮減に努め、安定した経営を図る必要がある。

また、施設の老朽化については、有形固定資産減価償却率が高く、取得価額全体の9割近くを占める建物の築年数が30年以上経過し償却が進んでいるためであるが、建物及び設備は、大規模修繕及び補修により、施設の長寿命化を図ってきた。

企業債残高対料金収入比率については、新たな投資を抑制し、企業債残高は減少傾向にあるものの、使用料収入も減少しており高止まりしている。

## 2. 将来の事業環境

### (1) 処理頭数の見直し

本市と畜場は、施設使用許可のみを行っているものであり、市がと畜業者の経営に関与していないことから、処理頭数の見直しを行うことが困難である。なお、減少傾向にあったと畜頭数は、下げ止まりつつある。

### (2) 料金収入の見直し

「(1)処理頭数の見直し」が不明であり、料金収入の見直しを行うことが困難であるが、と畜業者への頭数増加に向けた経営努力の取組みを促し、計画値の維持、増額を目指す。

### (3) 施設の見直し

建物や設備について、令和4年度までに大規模修繕及び更新を完了し、計画期間中は大規模な改修及び修繕は行わないが、次期に冷蔵施設、汚水処理施設の大型更新が必要となるとともに、センター建設されてから40年が経過し、老朽化が懸念となる。

### (4) 組織の見直し

指定管理者制度を導入しており、市所管課は3名、指定管理者の従事者はと畜頭数の減少により業務体制を見直し、計画策定時点より1名減の13名とした。特殊かつ専門的知識が必要であり、適切な人員更新を図りながら、維持、継続する。

## 3. 経営の基本方針

本市の食肉産業の流通拠点として、経済効果による食肉流通産業振興に寄与していることから、HACCP対応による衛生管理の強化とともに、指定管理者と連携を図りながら、安定的で持続可能な管理運営を行うとともに、施設のあり方を検討する。

#### 4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

##### ① 収支計画のうち投資についての説明

目	標	・年度末償還金残高：令和5年度295,935千円 → 令和10年度 73,767千円 ・公債費償還金：令和5年度 69,401千円 → 令和10年度 35,539千円
---	---	--

起債対象となる投資的工事は、施設の更新時期と起債償還年数を考慮し、令和4年度で完了した。  
未償還金残高については、新たに起債を発行しないことにより減少させる。  
公債費償還金については、令和5年度に69,401千円でピークを迎え、その後緩やかに減少し、令和17年度に終了させる。

##### ② 収支計画のうち財源についての説明

目	標	・受益者負担率：50%以上100%
---	---	-------------------

管理運営事業経費に占める使用料等収入の割合である受益者負担率について、50%以上100%を目指す。

##### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

可能な限りと畜日数(開場日数)を集約化し、稼働効率を上げることにより、指定管理料(光熱水費を含む)及び廃棄物委託料の削減を図る。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

##### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	指定管理者制度導入済であるが、民間活用を含む施設のあり方を検討する。
投資の平準化	指定管理者と連携し、定期的な点検、修繕を行うことで、耐用年数以上の長寿命化を図る。
広域化	兵庫県並びに兵庫県食肉センター設置市等連絡協議会を通じて、調査研究する。
その他の取組	

##### ② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	使用料の改定は、処理頭数の減少要因にもなるため、近隣市等とのバランスを注視し検討する。
企業債	施設の健全性を維持することを前提としつつ、令和5年度以降の新たな発行を停止する。
繰入金	収支バランスを改善し、一般会計繰入金の抑制を図る。
資産の有効活用等による収入増加の取組	
その他の取組	

##### ③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	指定管理委託料における施設の軽微な修繕や設備機器消耗品について、適切な執行となるよう指定管理者と連携して取り組む。
管理運営費	消費的工事について、緊急性や必要性を精査し、支出の抑制に努める。
職員給与費	職員の配置は行わない。
その他の取組	

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	阪神間の食肉流通拠点として安心・安全な食肉を供給する施設であり、市内の食肉産業振興に寄与しているため。
公営企業として実施する必要性	市内に食肉関連企業が集積し経済波及効果等が発生しており、公営企業として継続する必要性はあるが、市財政状況及び施設の民営代替性から、将来を見据えた施設のあり方を検討する。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	第5次西宮市総合計画との整合を図るため、令和10年度までの計画とし、毎年のモニタリングを行う。
---------------------	---

## 投資・財政計画 (収支計画)

年 度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
区 分		(決算)	(決算)	(決算)	(見込)	(予算)				
収益的収入	1 総 収 益 (A)	257,134	253,457	262,093	257,388	279,866	279,640	279,547	279,483	279,451
	(1) 営 業 収 益 (B)	109,680	104,571	98,162	94,556	94,012	94,012	94,012	94,012	94,012
	ア 料 金 収 入	109,680	104,571	98,162	94,556	94,012	94,012	94,012	94,012	94,012
	イ 受 託 工 事 収 益 (C)									
	ウ そ の 他									
	(2) 営 業 外 収 益	147,454	148,886	163,931	162,832	185,854	185,628	185,535	185,471	185,439
	ア 他 会 計 繰 入 金	133,009	136,982	151,476	150,497	175,631	175,405	175,312	175,248	175,216
	イ そ の 他	14,445	11,904	12,455	12,335	10,223	10,223	10,223	10,223	10,223
	2 総 費 用 (D)	257,134	253,457	262,093	257,388	279,866	279,640	279,547	279,483	279,451
	(1) 営 業 費 用	255,592	252,161	261,040	256,583	279,329	279,329	279,329	279,329	279,329
	ア 職 員 給 与 費									
	うち 退 職 手 当									
	イ そ の 他	255,592	252,161	261,040	256,583	279,329	279,329	279,329	279,329	279,329
	(2) 営 業 外 費 用	1,542	1,296	1,053	805	537	311	218	154	122
	ア 支 払 利 息	1,542	1,296	1,053	805	537	311	218	154	122
うち 一 時 借 入 金 利 息										
イ そ の 他										
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)	70,966	94,360	97,545	69,401	65,218	44,405	40,209	36,797	35,539
	(1) 地 方 債	27,200	42,300	31,200	0	0	0	0	0	0
	うち 資 本 費 平 準 化 債									
	(2) 他 会 計 補 助 金	43,766	52,060	66,345	69,401	65,218	44,405	40,209	36,797	35,539
	(3) 他 会 計 借 入 金									
	(4) 固 定 資 産 売 却 代 金									
	(5) 国 ( 都 道 府 県 ) 補 助 金									
	(6) 工 事 負 担 金									
	(7) そ の 他									
	2 資 本 的 支 出 (G)	70,966	94,360	97,545	69,401	65,218	44,405	40,209	36,797	35,539
	(1) 建 設 改 良 費	27,234	42,350	31,240	0	0	0	0	0	0
	うち 職 員 給 与 費									
	(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	43,732	52,010	66,305	69,401	65,218	44,405	40,209	36,797	35,539
	うち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金									
	(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金									
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金										
(5) そ の 他										
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収 支 再 差 引 (E)+(I) (J)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積 立 金 (K)										
前 年 度 からの 繰 越 金 (L)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前 年 度 繰 上 充 用 金 (M)										
形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源 (O)										
実 質 収 支 黒 字 (P)										
(N)-(O) 赤 字 (Q)										
赤 字 比 率 ( $\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$ )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収 益 的 収 支 比 率 ( $\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$ )	85	83	80	79	81	86	87	88	89	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 16 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (R)										
営 業 収 益 - 受 託 工 事 収 益 (B)-(C) (S)	109,680	104,571	98,162	94,556	94,012	94,012	94,012	94,012	94,012	
地 方 財 政 法 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 の 比 率 ((R)/(S) × 100)										
健 全 化 法 施 行 令 第 16 条 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (T)										
健 全 化 法 施 行 規 則 第 6 条 に 規 定 す る 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (U)										
健 全 化 法 施 行 令 第 17 条 に よ り 算 定 し た 事 業 の 規 模 (V)	109,680	104,571	98,162	98,079	94,012	94,012	94,012	94,012	94,012	
健 全 化 法 第 22 条 に よ り 算 定 し た 資 金 不 足 比 率 ((T)/(V) × 100)										
他 会 計 借 入 金 残 高 (W)										
地 方 債 残 高 (X)	410,140	400,430	365,325	295,935	230,717	186,313	146,103	109,306	73,767	

○他会計繰入金

年 度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
区 分		(決算)	(決算)	(決算)	(見込)	(予算)				
収益的収支分		133,837	136,982	151,476	150,497	175,631	175,405	175,312	175,248	175,216
	うち 基 準 内 繰 入 金									
	うち 基 準 外 繰 入 金	133,837	136,982	151,476	150,497	175,631	175,405	175,312	175,248	175,216
資本的収支分		43,766	52,060	66,345	69,401	65,218	44,405	40,029	36,797	35,539
	うち 基 準 内 繰 入 金									
	うち 基 準 外 繰 入 金	43,766	52,060	66,345	69,401	65,218	44,405	40,029	36,797	35,539
合 計		177,603	189,042	217,821	219,898	240,849	219,810	215,341	212,045	210,755